



# モエワ★カムイ 51

NO.

MAR 1998

○モエワ・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。

あさひやまどうぶつえんニュース  
ASAHIYAMA ZOO NEWS

もくじ

シリーズ

「ぼくは動物大使」

その12 フタコブラクダ 2.3

特集

教育活動 4.5

飼育研究レポート 6

動物園事情・  
動物病院 VET ニュース 7

クイズ

できごと

飼育動物数

編集後記 8

フタコブラクダ  
*Camelus bactrianus*

ぼくは、  
**動物大使**  
 その12 砂漠の船 **フタコブラクダ**

**フタコブラクダ**  
*Camelus bactrianus*

中央アジアのゴビ、アルタイ砂漠に生息しますが、ほとんどが家畜として人と一緒に生活しています。  
 野生のフタコブラクダは1,000頭足らずといわれ、絶滅が心配されていました。現在は国際保護動物になっています。夏はプラス50℃、冬はマイナス30℃にもなる厳しい環境で生きています。

**旭山ZOOのラクダ夫婦**



**オス マル**  
 '86年3月13日生まれ 12才  
 人なつこい性格



**メス**  
 '92年3月22日生まれ 6才  
 たおれたこぶがチャームポイント

**耳**  
 耳の穴まで毛がびっちり砂が入らない

**目**  
 長いまつげが砂や強い日差しから目を守る  
 第2のまぶた「瞬膜」が、角膜が砂で傷つくのを防ぐ

**鼻**  
 鼻の穴を自由に開閉できる砂が入らない

**くちびる**  
 上唇が裂けているとても器用な唇

**足**  
 座布団を付けた靴を履いているような大きな足砂に埋まりにくい

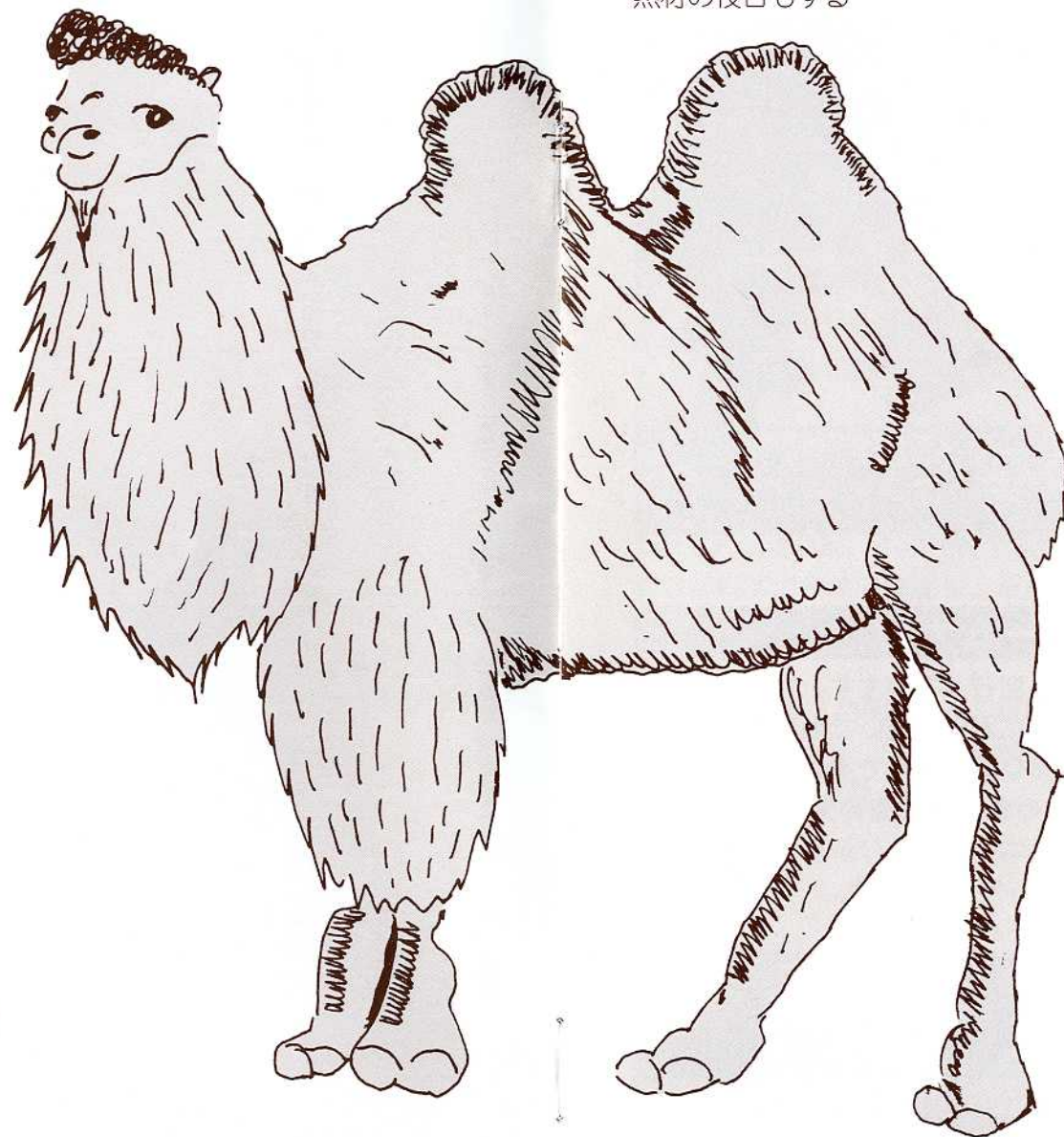
**歩き方**

一般に哺乳類の足の運びは、最初に左後ろ足を前に出すとつぎに右前→右後ろ→左前そして左後ろと繰り返します。でもラクダは同じ側の前後の足をほぼ同時に挙げ、前に進みます。この歩き方を側対歩といい、キリンも同じです。  
 そういえばすごく緊張している人も右手と右足が同時に……あれも側対歩かな!?



**ラクダの仲間**

**こぶ**  
 栄養分を脂肪に変えて蓄える  
 強い日差しを遮る断熱材の役目もする



ラクダ科の祖先は4000~4500万年前に北アメリカに現れました。現在ラクダ科は3属6種(家畜3種も含む)です。南アメリカに棲む4種は、体も小さくこぶがありません。



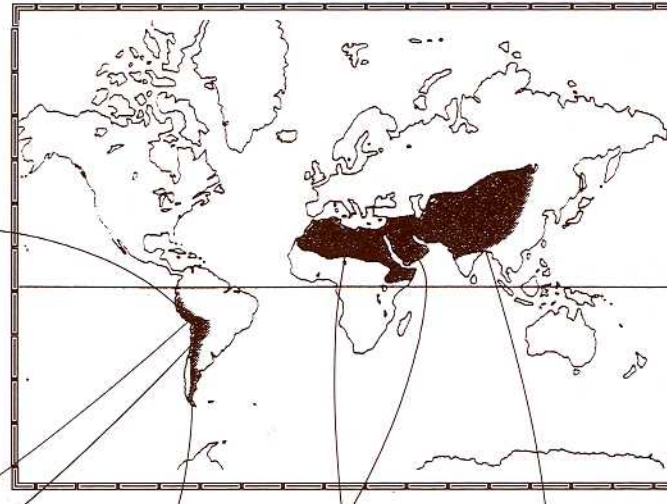
ビクーニャ



ラマ(家畜)



アルパカ(家畜)



グアナコ



ヒトコブラクダ(家畜) フタコブラクダ

**体**  
 こぶまでの高さ 190~230cm  
 体重 450~650kg  
 皮下脂肪はない

**毛**  
 夏は短く薄い。冬は長くて厚い毛皮で覆われる

**たこ**  
 膝や胸、手首などに厚いたこがあり、熱い砂の上や岩場でも平気で座れる生まれつきある



**砂漠を生き抜く**

どんな動物も水がなければ生きていけません。砂漠では毎日水が飲めません。しかも砂漠はとても暑いので、たくさんの汗が出ます。普通の動物なら2日と持たないような環境です。ところがラクダは1週間も水を飲まなくても平気なのです。

一般には哺乳類は暑くなると発汗と呼吸数を増やして、熱を逃します。体温の上昇は動物にとって致命的です。ところがラクダは平常時37度の体温が42度くらいになるまで汗をかきません。また呼吸数で体温を下げる時、犬は1分間に300回、牛で200回を越えますが、ラクダは増えても20回と少ないのです。さらに尿も少なく、糞もほとんど水気を含まないなど徹底的に水分が逃げるのを節約しています。また人は、体重の12%の水分が失われると生命が危険な状態になりますが、ラクダは30%の水分を失っても平気です。また、一度に100リットル以上の水を飲んでも溶血しないように、赤血球がだ円形をしています。

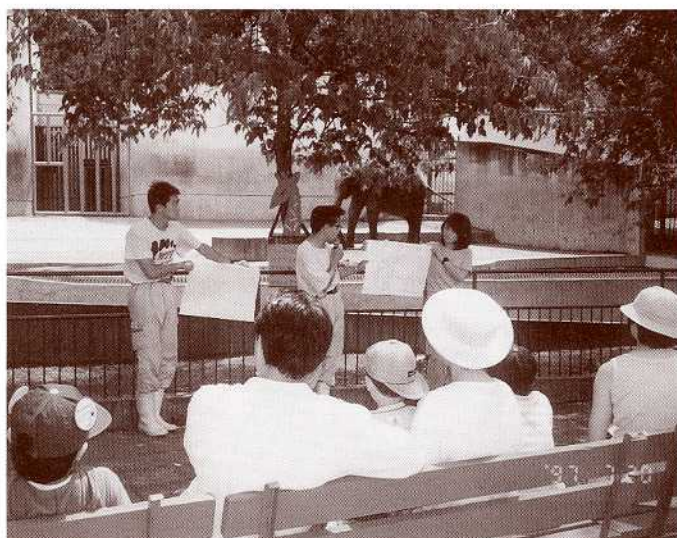
# 特集 教育活動

旭山動物園では、動物を展示するだけでなく、たくさんの人に、より動物のことを知ってもらおうと教育的な活動に取り組んでいます。今年1年の活動をまとめてみました。

## ワンポイントガイド

飼育係が、担当動物について来園者にお話しします。ゴールデンウィーク後の日曜・祭日の11時から30分間行います。昭和61年度から始めています。動物の体の仕組みや生態、飼育している個体のエピソードなど担当者ならではの話が聞けるため、来園者からの人気は上々です。

	テーマ	回数	参加人数
5月	こども牧場	3回	95人
6月	北海道の動物たち	4回	135人
7・8月	大きな動物	6回	330人
9月	ネズミとサル	6回	220人
10月	肉食動物	3回	45人



ワンポイントガイド

## サマースクール

毎年夏休み期間中の3日間、市内小学生5・6年生50名を対象に飼育体験・学習を行っています。3日間通して参加できることが条件です。プール掃除をしたり、餌を作ったりといった作業や、卵の標本を作ったり、実験をしたりします。昭和51年から毎年行っています。

8月1～3日 市内小学校5・6年生 58名



わくわくゲーム大会

## わくわくゲーム大会

開園期間中、年2回行っています。ウンチを見てその主を当てたり、においを嗅いで動物を当てたりと体験型の問題が多いのが特徴です。賞品がチンパンジー一家1日分の餌、動物園特製エゾシカの角キーホルダーなどユニークなものも多く、人気があります。昭和61年から行っています。

6月8日 48チーム 140名  
10月19日 70チーム 210名

## 動物観察会

開園時間外の早朝や夜、飼育動物だけでなく、野生の動物たちなどの観察を行います。野鳥の観察会、フクロウの観察会、鳴く虫の観察会などを行っています。昭和63年から行っています。

5月18日 野鳥観察会 23名  
6月28日 フクロウ観察会 69名

## 夜の動物園

動物は本来夜行性の種が多く、夜になると目が爛々と輝くライオンなどを見てもらおうと、開園20周年の昭和62年から始めました。期間は8月13～16日までの4日間です。ホタルの展示も行っています。

## 親子動物教室

夏休み期間の日曜日、親子で動物のことを学んでもらおうと始めました。毎年テーマを決め、うんち教室、昆虫採集、飼育体験などを行っています。

昭和61年から行っています。

7月27日	14組	50名
8月10日	13組	32名
17日	12組	40名
合計	39組	122名

## 冬の動物園観察会

長い閉園期間中動物たちがどんな生活をしているのか、飼育係が園内を案内します。昭和61年から行っています。

1月26日	145名	(応募数145名)
2月16日	146名	(応募数233名)
3月16日	232名	(応募数605名)

## 児童動物画コンクール

幼児・児童から寄せられた、たくさんの動物画をそれぞれ幼児の部、小学校低学年の部・中学年の部・高学年の部に分けて審査し、優秀作品にはすばらしい賞が与えられます。

応募数

1). 保育所・幼稚園	30施設	738点
2). 小学校	35校	483点
合計		1,221点



絵本の読み聞かせ



出向ガイド

## ガイド

幼稚園・各種学校など団体を対象に行っています。事前に日程・内容の打ち合わせをして30分～2時間程度ガイドをします。今年度オープンしたこども牧場を中心に内容の充実を図っています。

### 1. こども牧場での活動

1). 園内でのガイド	38件	1,505名
2). 出向ガイド	小学校 8件	579名
	その他 6件	271名
3). 動物の貸出	4件(小学校3・中学校1)	
4). 動物の譲渡	6件(幼稚園1・小学校5)	

### 2. こども牧場以外での活動

1). ガイド	28件	1,270名
2). 実習	9件	169名
3). ゲーム	7件	400名

## 絵本の読み聞かせ

開園期間中の毎月第2土曜日11時から、旭川絵本の会が絵本の読み聞かせを行います。絵本に出てきた動物たちの紹介を飼育係が行います。 258名

新年度は、学校教育と連動した活動の充実を重点によりいっそう内容のあるものにしていきたいと思っています。

# 飼育研究レポート

去年の4月から飼育係になった高橋伸広です。飼育係になってあっという間に1年がたちましたが、あらためて動物を相手に仕事をするのがいかに難しいかを実感しています。

最初にうけもつことになった担当動物はキジ・ツル類・エゾシカ・ゴマフアザラシでした。キジは「たかが鳥だ」と甘く見ていたら、けづめとよばれるとがった「キョ」で僕の顔面めがけて飛びかかってきます。巣箱をよく見るとメスが卵を抱いていました。オスはメスを守るために僕に攻撃してきたのでしょう。夫婦愛を見せつけられた僕は「おじゃました」と言ってケージを出ました。

エゾシカは、普段はおとなしい動物です。特にオスは春先、まだ角が生えてなくちょっと追っ払うと逃げていくのですが、秋頃には立派な角が生えおわり、それを振りかざし向かってきます。今度は僕が逃げる番です。先輩に聞くと「毎年この時期に角を切り落とすんだ」と聞きひと安心。早速獣医さんが麻酔をかけノコギリで角を切り落とします。僕も中に入り、すっかり眠っているエゾシカにここぞとばかりに押さえ込み「どうだ、まいったか」と勝ち誇った気持ちになり、麻酔から覚める前に急いで退散しました。

そんな僕が特に刺激を受けた出来事がありました。それは、飼育係となって最初の2ヶ月ほど、アザラシの仔にエサを食べさせる強制給餌という大仕事がありました。それは母親と死別してしまい自分でエサを食べることができない2頭の仔アザラシを押さえ込み、口の中に魚を入れて飲み込ませる事だったので。しかし、人の手で無理矢理魚を突っ込まれるのが嫌なのか、押さえ込まれて不安なのかチビゴマちゃんたちは「ガーガー」と威嚇してきました。牙が見えた時には手が止まる事や、実際に咬まれたりもしました。けれども僕が母親役として食べ方を覚えさせなければ「このチビゴマちゃんたちは死んでしまうのでは」と思い強い使命感に燃え、しばらく続けました。2週間ほどするとチビたちも（僕も）慣れてきて順調に育ってくれました。

今では担当動物も変わり、仕事にも慣れてきました。が、動物についての知識がまだ勉強不足だとつくづく思います。でも「動物を飼育する」という事がどうゆう事なのか飼育係として少しだけ理解できた気がします。それを学ばせてくれた2頭のチビゴマたちは今も元気に泳いでいます。ぜひ見に来て下さい。

(高橋 伸広)



# 動物園事情

## 動物園の役割 その1

「動物園は何のためにあるか」という問いをよく受ける。いわゆる存在理由だ。動物園を訪れる多くの人は「動物園って楽しいよね」という感想を持っている。理屈などない。それで良いのだと思う。誰だって楽しくないことを強制されるほど苦しいことはないのだから。動物園が楽しいところであることを否定する動物園はない。と信じる。

動物園の役割とは、一般的にいわれることだが、レクリエーション、教育、研究、動物保護の4つである。レクリエーションが真っ先に来ているが、この機能ばかりを強調され、「遊びのための動物園か?」と批判されることがある。それに対し、動物園側は「いや、研究や野生動物の保護もしている」と反論する。

基本に立ち返って考えてみる必要がある。本来、動物園という施設は、名称はどうあれ「動物を飼育して「見る」、ことを目的としている。研究のため、保護のためだけに動物を飼育している場所を誰も動物園とは言わない。

そこで、動物園は動物を何のために見せるのかであるが、歴史的には王侯貴族の楽しみであったものが、市民に解放され、多くの人たちが動物園でまったく別世界の珍しい動物を見て楽しむようになった。この頃は人が楽しむことを目的として動物園は存在した。そして「こんな変わった動物がいる」というのが動物園の自慢であった。従って動物たちの姿がよく見えるような動物舎で動物たちは飼育されていた。人々は「動物たちが物陰に隠れて見えない」と苦情を言い、園長は飼育係に「放飼場の草が伸びて動物が見えないじゃないか」と注意することになる。旭山動物園は昨年30周年を迎えたばかりの動物園だが、開園当時に建設された動物舎がまだ残っている。この動物舎がまだ動物の姿形を見せるための施設であったことが、つい最近まで「珍しい動物をよく見せるため」に動物を飼育していたことを証明している。

その後、テレビなどの映像で様々な動物たちの躍動的な姿を見せられた人々は、ライオンやゾウを珍しい動物という認識から外してしまった。「ほとんど本当の画面、を見て「動物のすべて、を分かったような錯覚に陥ってしまった。

もちろんすべての人ではない。動物園には、まだまだ多くの人やってくる。しかしその目的は、いろいろな広がりを見せてきた。でもその根底にあるのは「動物園が楽しい、からだと思う。なぜなら、その顔には笑顔が絶えないからだ。

動物園を訪れる人に、動物園を訪れる意義を訴えることほど馬鹿げた話はない。来園してくれた多くの人に、なにを見てもらうのか、何のために見てもらうのか、今動物園に問われているのだと思う。 つづく

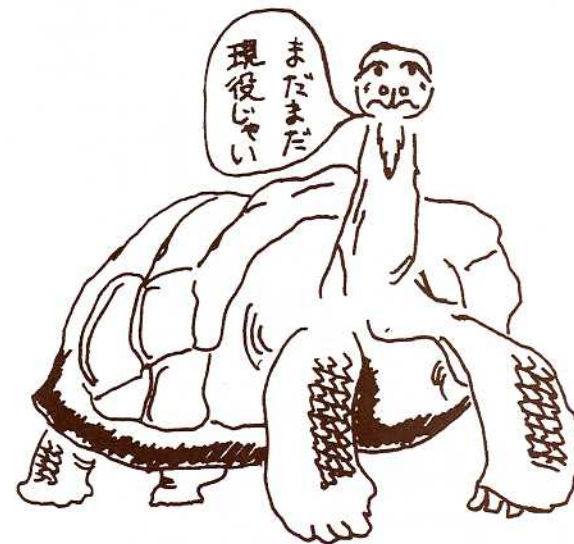
# 動物病院VETニュース

80歳を過ぎてもバリバリ元気、なんて人は今の日本では珍しくなくなりましたね。お年寄りが元気なのは良いことです。が、ほんの数十年前までは人生50年なんて言葉があったのに、今や50歳なんて働き盛りですよ。これは、食事や衛生面などの環境の改善に伴い、障害や病気を予防できるようになったこと、重ねて、病気になったときの治療技術の進歩もたらした結果でしょう。

さて、動物園には実に様々な動物たちがいます。そしてその寿命もまた様々です。亀なんかは「亀万年、なんて言うように、実際のところ正確な寿命は分かりません。ゾウガメでは、確実な飼育記録で152年、おそらくは200歳近かっただろうという記録もあります。対照的にハムスターはわずか2、3歳で天寿を全うしてしまいます。

野生動物は本来、老衰で死ぬことはまずありません。野生ではその前に何らかの原因で命を落とすからです。ところが動物園で飼育されている動物達は、老衰で死ぬこともあります。むしろそうなることが理想でしょう。その為には、人間と同じです。餌や飼育環境の改善と、治療技術の進歩が不可欠です。最近では、飼育動物の精神面にまで研究の視野は広がっています。「生かしておく、ことと、「飼育する、ことは違うんですね。それぞれの動物が、それぞれの動物なりの天寿を全うできるように、それまでは身も心も健康でいられるように、その為の試行錯誤は飼育係の醍醐味のひとつです。

31年目の開園、大きな怪我や病気がないといいな。



# クイズ

3人の飼育係の話から、それぞれの担当動物とその動物が主食としている餌を選んで下さい。

牧田：「カモの担当者は冬場にモヤシを与えると言ってたなあ」

坂野：「私の担当は掃除が大変。羽をちらかすし餌も多いんだね」

辻栄：「牧田さんが担当している動物の獣舎は真冬でも暖房がないんだって。おかげで床はいつもツンツルリンのスケートリンクだそうだ」

動物名	餌
・キリン	・モヤシ
・カモ	・肉
・ホッキョクグマ	・乾草

動物名 餌

牧田：( ) ( )  
 坂野：( ) ( )  
 辻栄：( ) ( )

## 50号の正解者

正解は2番でした。  
 キーホルダー当選者  
 旭川市 石井裕子さん  
 旭川市 押野孝彦くん



正解者の中から抽選で3名の方に旭山動物園特製エゾシカの角キーホルダーが当たります。

応募方法はハガキに答と住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、旭山動物園モユク・カムイ係までお送り下さい。応募×切

1998年5月31日

## できごと

- 10月23日 エゾシカ角切り
- 10月24日 ワピチ角切り
- 12月14日 キリンのマーナ爪伸びて跛行
- 12月16日 エゾシカ臙脱
- 1月8日 エゾシカ・オス死亡、トカラヤギ跛行、ギブス固定
- 1月20日 ベネットアカクビワラビーの子、袋から落ちる
- 1月21日 ベネットアカクビワラビーの親死亡、子人工保育開始
- 1月26日 冬の動物園観察会
- 2月16日 冬の動物園観察会
- 3月6日 ワピチの角、落角
- 3月13日 キリン出産
- 3月16日 冬の動物園観察会
- 3月17日 オジロワシの卵、孵卵器に入れる
- 3月19日 人工保育のワラビーの子、死亡

## 飼育動物数

(3月31日現在)

哺乳類	53種	225点
鳥類	102種	538点
爬虫類	10種	35点
合計	165種	798点

## 編集後記

旭山動物園も31年目を迎えます。今年は猛獣館の建築があります。開園以来、初めての本格的な獣舎の建築と言っているでしょう。10年先を見越した獣舎になればと考えています。すんでいる環境が分かる展示、生活している動物が幸せに見える展示、動物が持っている能力が間近で見られる展示がポイントです。今、その打ち合わせなどでてんでこ舞いしています。てなわけで、モユクカムイの発刊がちょっと遅れてしまいました。申し訳ありません。

## モユク・カムイ No.51 平成10年3月31日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104  
 発行 小菅正夫  
 編集委員 坂東元・中田真一・松島守・辻松淳二  
 印刷 谷川印刷株式会社 〒070-0831 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653